

SOAI familiar

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1 TEL.06-6612-5900
相愛高等学校・相愛中学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23 TEL.06-6262-0621

SOAI familiar 2011 No. 19 相愛ファミリア

第19号・2011(平成23)年4月22日発行 ●発行元：学校法人相愛学園園広報誌編集委員会 ●http://www.soai.jp/

子供たちとの「距離」大切に

教師・相愛大学人文学部卒業生
杉本麗王さん



12 コンビニ選手権優秀賞
8 中高大入学式・卒業式
4 おせっかい教育論

- クラリネット・アンサンブル演奏会
11月8日(火)
本学南港ホール
- 図書館公開講座
11月10日・24日(いずれも木曜日)
図書館視聴覚室 入場無料
- 市民仏教講座
11月12日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
- 高2乙女コンサート
11月12日(土)
本学本町学舎講堂 入場無料
- 教員によるSOAI Concert
(管・弦教員による)
11月15日(火)
本学南港ホール 入場無料
- 定例礼拝(報恩講話要)
11月17日(木)13:20~14:50
本学南港ホール 自由参拝
- 作曲作品発表会
11月24日(木)
本学南港ホール
- 北御堂相愛コンサート
11月24日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(管弦打)
- バリ・チューバアンサンブル演奏会
11月29日(火)
本学南港ホール
- トランペット・アンサンブル演奏会
11月30日(水)
本学南港ホール
- 輝くソリストの集い
12月3日(土)
本校本町学舎講堂 入場無料
- ギター・アンサンブル演奏会
12月6日(火)
本学南港ホール
- 定例礼拝(成道会法要)
12月8日(木)13:20~14:50
本学南港ホール 自由参拝
- 市民仏教講座
12月10日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
- フルートオーケストラ演奏会
12月17日(土)
本学南港ホール
- 金管アンサンブルフェスタ
12月19日(月)
本学南港ホール
- 高3室内楽演奏会
12月19日(月)
本学本町学舎講堂
- 北御堂相愛コンサート
12月22日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(声楽)

- クラリネット・アンサンブル演奏会
11月8日(火)
本学南港ホール
- 北御堂相愛コンサート
9月29日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(声楽)
- 相愛オーケストラ第56回定期演奏会
10月3日(月)18:30開演
ザ・シンフォニーホール
入場料：前売2,500円/当日3,000円
指揮：円光寺雅彦、小林恵子、酒井睦雄
- 定例礼拝
10月6日(木)13:20~14:50
本学南港ホール 自由参拝
- 市民仏教講座
10月8日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
- 文化祭(乙女祭)
10月9日(日)
- 図書館公開講座
10月13日・20日・27日(いずれも木曜日)
図書館視聴覚室 入場無料
- 開校記念日
10月14日(金)
- トロンボーンアンサンブルフェスタ
10月15日(土)
本学南港ホール
- 木管アンサンブルフェスタ
10月18日(火)
本学南港ホール
- 相愛学園中高入試説明会
10月22日(土)
本学本町学舎講堂
- Blue Ocean Festival2011(大学祭)
10月22日(土)・23日(日)
本学南港 Campus
- ホルン・アンサンブル演奏会
10月25日(火)
本学南港ホール
- 北御堂相愛コンサート
10月27日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(ピアノ)
- 教員によるSOAI Concert
(声楽教員による)
10月27日(木)
本学本町学舎講堂 入場無料
- 相愛学園中高入試説明会
10月29日(土)
本学本町学舎講堂
- 打楽器アンサンブル演奏会
10月29日(土)
本学南港ホール
- 秋季貴重図書資料展
11月4日(金)~17日(木)
貴重図書資料室 入場無料

- 相愛トランペットコアー演奏会
6月14日(火)
本学南港ホール
- 相愛高等学校音楽科3年
乙女コンサート
6月18日(土)
本校本町学舎講堂 入場無料
- 北御堂相愛コンサート
6月23日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：堀智美(ピアノ)
- オープンキャンパス
6月26日(日)9:30~14:30
本学南港 Campus
問合先：入試課
- 市民仏教講座
7月2日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
講師：直林不退(本学准教授)
講題：「節談説教とご縁」
- 定例礼拝
7月7日(木)13:20~14:50
本学南港ホール 自由参拝
講師：小野真(本学准教授)
礼拝コンサート：沙羅の木合唱団
- 相愛ウインドオーケストラ
第33回定期演奏会
7月7日(木)18:30開演
アルカイックホール
指揮：若林義人、小林恵子
特別出演：アンドレ・アンリ(トランペット)
- 北御堂相愛コンサート
7月21日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(管弦打)
- オープンキャンパス
7月24日(日)・8月7日(日)・21日(日)9:30~14:30
本学南港 Campus
問合先：入試課
- リーダーズキャンプ
8月17日(水)~19日(金)
- 北御堂相愛コンサート
8月25日(木)12:25~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：(創作)
- 高2修学旅行
8月30日(火)~9月3日(土)
- オープンキャンパス
9月4日(日)9:30~14:30
本学南港 Campus
問合先：入試課
- 市民仏教講座
9月17日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
- サクソフォンアンサンブル演奏会
9月17日(土)

- ◆相愛学園イベントガイド◆
(2011年5月~2011年12月)
- 中3修学旅行
5月8日(日)~11日(水)
- 市民仏教講座
5月14日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
講師：小野真(本学准教授)
講題：「本願寺の御正忌報恩講話要について」
- 北御堂相愛コンサート
5月20日(金)12:15~12:45
本願寺津村別院(北御堂)本堂
入場無料
出演：相愛大学サクソフォンアンサンブル
- 公開講座ウィオラスベス2011
大阪~若手演奏家のための公開マスタークラス~
5月21日(土)
本学南港ホール 入場無料
- 親鸞聖人降誕会法要・降誕会
本山参拝
5月21日(土)
本学本町学舎講堂、本山
- 教員によるSOAI Concert
(ピアノ室内楽教員による)
5月24日(火)
本学南港ホール 入場無料
- オープンキャンパス
5月29日(日)9:30~14:30
本学南港 Campus
問合先：入試課
- 相愛大学音楽学部
特別奨学生による演奏会
5月31日(火)・6月1日(水)
本学南港ホール
- 春季貴重図書資料展
6月3日(金)~16日(木)
貴重図書資料室 入場無料
- 体育祭(高中)
6月4日(土)予備日5日
- 市民仏教講座
6月4日(土)13:30~15:00
本学学生厚生館S307 受講無料
講師：釈徹宗(本学教授)
講題：「初歩からの仏教」
- 教員によるSOAI Concert
(専任教員による)
6月7日(火)
本学南港ホール 入場無料
- 作曲作品発表会
6月8日(水)・9日(木)(予定)
本学南港ホール 入場無料
出演：作曲専攻生
- 定例礼拝
6月9日(木)13:20~14:50
本学南港ホール 自由参拝
講師：釈徹宗(本学教授)

編集後記

桜が満開に咲きほころぶ季節となりました。相愛大学・中学・高校の新入生の皆さんは大きな夢と希望を抱かれています。さて本年度は、人文学部の仏教文化学科、文化交流学科、音楽学部の音楽マネジメント学科がスタートしました。新たな一歩を踏み

出した相愛学園の広報に携わせていただくことに、やりがいと喜びを感じているところです。昨年度より「相愛ファミリア」も冊子版となり、「社会で活躍する卒業生」を紹介しております。卒業生の活躍をお知らせすることで、在学生・在校生には人生進路に役立てていただくとともに、相愛生としての誇りをもってもらえたらという想いから、また、卒

業された方々には懐かしい日々を思い起こし、相愛でつながり合った人々のご縁を大切にしたいという想いから始めました。スタッフ一同、学園の新しい風をお届けできるよう、充実を図っていきます。皆さんの学園生活が輝くためのニュースやご意見などありましたら、お知らせいただけたら幸いです。(太田)



怒る時には 真剣にしかる



「少人数」「なごやか」相愛へ進学

昼食の時間、生徒たちと一緒に教室で食事をする杉本さんは、食べ終わってもすぐには職員室に戻りません。そこへ近づいてきた生徒が最近あった出来事などを話し始め、会話は弾みます。「子供たちとの距離」をいつも心がけている彼には、この時間もとても貴重に思えるのです。

小学4年生のころの担任は、彼にとってユニークで魅力的でした。「子供たちより早く給食を食べ終わると、ボールを持って『さあグラウンドへ行くぞ』というような先生でした。怒るときは徹底的にしかるけれど、後ですごくやさしい一言をかけてくれて、その切り替えがうれしかったのを覚えています」。この出会いで将来の職業を決めたのです。

大阪府立阿武野高校(高槻市)を経て大学進学を考えていた時、最初に手に取ったパンフレットが相愛大学のもの。「読んでみると『少人数での授業をしている』とか『教員資格が取れる』などと書かれてあるし、なごやかな雰囲気が感じられたので、他の学校のものは見ないでここにしよう決めました」。こうして、社会と国語の教員免許(中学、高校)が取得できる人文学部日本文化学科に入学したのです。

亡き祖父に背中を押され

期待どおりに「教える側と教わる側の距離」の近さを実感する学校生活。「合同研究室に入りびたって、そこで弁当を食べたり教授の方々と気軽に話したりしました。分からないこともすぐに質問できたし、ものすごくプラスになりました」

と振り返ります。

ところが、母校へ教育実習に行く直前に、一緒に暮らしていた祖父が86歳で他界。喪失感はとても大きく、教員免許取得には必修の教育実習に行くのをやめようかとすら思ったくらいでした。落ち込んだ彼の背中を押したのは、その祖父の言葉でした。

「祖父が生前、『教師は他人に夢を与えて、導いていく素晴らしい仕事や』と言っていたのを思い出して、教師になっているいろいろな事を伝えたいと改めて決意しました。4週間の教育実習では「知識を文字で覚えているだけで、理解はしていなかった」ことを実感するいい機会にもなりました。実習最終日には、生徒たちが「ありがとう」などと黒板にぎっしり書いて送り出してくれたのを鮮明に覚えています。

親しき中にも礼儀あり

大学卒業後、阿武野高校で知的障害学級に1年、他の学校で講師を1年間勤めたのを経て、5年前に城南中学の教師に。

高校時代は陸上400mの選手でしたが、今はサッカー部顧問として休日にも練習に立ち会い、生徒たちと真正面から向き合っています。年齢が近いだけに生徒には親しみやすい存在だったからか、「麗王」と呼び捨てで呼ばれていたこともあったのですが、「それは禁止しました。『先生らしくない先生やな』と思ってもらうのはいいけれど、『やっぱり先生やな』とも思ってもらわないといけません。教師と生徒、線引きが必要です」と自分なりの「距離感」を守り続けています。いまの生徒たちを見ていて、「メールでほとんどの事を解決してしまうために人間関係が希薄。本人と会って話をしないと物事は始まらないのが基本です」と感じています。

怒る時には真剣にしかるというのがモットー。「生徒からは『いつも眉間にしわを寄せている』と言われる」と笑みを浮かべます。何事にも一生懸命、杉本さんからはそんな「熱さ」が伝わってきます。

(取材協力・高槻市立城南中学校)



社会で活躍する
卒業生

杉本麗王さん(教師・2004年相愛大学人文学部卒業)

「学校の先生になりたい」。杉本麗王さん(29)は小学生のころから抱いていた夢を実現させて、現在は大阪府高槻市の市立城南中学校で教師をしています。相愛大学で教員免許を取得した後、この学校に赴任して5年。学年主任とサッカー部顧問も担当している彼は、「教える側と教わる側」のコミュニケーションを大切にしながら忙しい毎日を送っています。

相愛大学 人文学部
 仏教文化学科・文化交流学科
 開設記念シンポジウム

おせっかい教育論

鷲田 清一 × 内田 樹 × 平松 邦夫 × 積 徹宗

主催：相愛大学 企画・作成：相愛大学人文学部 協力：ナカシマ大学



左からパネリストの平松氏、内田氏、鷲田氏、積教授

教育でも 「おせっかい」焼こう

仏教文化学科・文化交流学科

開設記念シンポジウム第2弾

相愛大学人文学部仏教文化学科、文化交流学科の開設記念シンポジウム第2弾「おせっかい教育論」が3月5日、相愛学園本町学舎講堂で開催されました。平松邦夫氏(大阪市長)、鷲田清一氏(大阪大学総長)、内田樹氏(神戸女学院大学文学部総合文化学科教授=当時)、積徹宗(相愛大学人文学部教授)のパネリスト4名の熱のこもったディスカッションに、約500名の参加者が聞き入りました。

今回と同じメンバーがそろって2009年10月に行われたシンポジウムは「おせっかい教育論」という本になり昨年10月に発売、話題になっています。その4名が再び集まって、今回もまた2時間にわたる激論をたたかわせました。

金児暁嗣・相愛大学学長が「大阪に文化や芸術を繁栄させて、元気にしないとけません。官の指導ではなく市民の手、地域社会の人々の手によって教育は成り立つと期待しています」とあいさつ。山本幸男・人文学部長は同学部に開設する2学科についての紹介を行いました。

これに続いてシンポジウムがスタート。主に以下のようなトークが繰り返されました。

●「勉強すると金になる」は品がない

鷲田 私は「おせっかい」と教育論が大嫌いだっただけですが(笑)。みなさんとのトークを本にまとめて以後、これもテーマにしゃべるようになりました。

平松 江戸時代に大阪に作られた懐徳堂や適塾は大阪の人たちが、「これからの時代に役に立つ人を作るためには自分たちの金で教育しようやないか」という集まりで、それこそ「おせっかい」でした。どんな方向に教育論の話が行くかわからないのがこのメンバーの真骨頂ではないかと思っています。

内田 私は今年3月に退職して「凱風館」という街の学びの道場を作り、11月に道場開きをするのですが、これも大きな「おせっかい」ですね(笑)。

積 教育のフィールドにビジネスモデル

てもらおうのが当然という構図が進んでいる気がします。

内田 「イノベーションを担う人材を育成しろ」という教育行政はおかしい。いま使われているイノベーションの意味は「新製品」を意味しているが、本来は既存の価値から想像しえないような価値を作り出すという意味なのです。それに「実学」というのを日本語の語彙から消していただきたいと思っています。教育投資に対するリターンの実績。つまり、「勉強すると金になる」という論理はすごく品がない。こんなものを基準にして教育内容を決めていくのは筋違いで、止めていただきたいと思っています。

鷲田 私の大学の憲章に「実学の重視」というのが入っています。「実学」というのは福沢諭吉が机上だけの学問に対して現実を真正面から取り組む学問のことを言ったのです。

●さまざまな教師で支え合う

内田 福沢諭吉らは適塾でいろいろなオランダ語の本を輪読しました。当時、大阪でこんな事をしてなんの役にも立たないのに、「日本でこんな事を行っているのは自分たちしかいない」というプライドでやっていたのです。

鷲田 適塾の人たちのその後を調べると、半分くらいは医師になっていますが、後は福沢のような言論人などいろいろな分野のリーダーになっています。

平松 内田先生が「坊っちゃん」に出てくる教師を6類型に分けられているのを知って、学生時代に読んだのを改めて読み返して



が進出してきています。教育のサービスを提供する側が「これを買ってもらえればこういうふうになりますよ」と明示し、教育を受ける側は支払った対価のサービスをし

てみましたが、とても新鮮でした。なかにはいまだったら処分を受ける教師も登場しますが(笑)。こんなさまざまな教師が支え合う部分を設けないといけないと感じました。

内田 ある元力士から「相撲は天性の運動能力はいいですね」という話を

聞いて驚きました。大きな体があれば後は全部教えるという教育体系が完成しているのです。教育も同じで、特異な教育を持った人しか教師になれないというのではなく、

教える側と教えられる側との関係があれば、後はルールさえ守っていけば存在するので。

●「後ろ姿」が大切

鷲田 よく「リーダーシップ論」が取り上げられますが、みんながリーダーになりたがる社会は、壊れやすくて危ない社会だと思います。松下幸之助さんは、「成功するビジネスマンの条件」として「愛嬌」「運が強そうな事」と共に「後ろ姿」を挙げられたそうです。「後ろ姿」というと私は任侠映画の高倉健と池部良を思い浮かべます。敵に乗り込む時に、健さんは「ついてこい」と言わないのに、池部良が後を歩く。古き良きフェロウシップ(仲間意識)が大切ですよ。

内田 私は漫画の「ワンピース」にそれを感じます。グローバリズムの世界に生きる少年が冒険をするというストーリーですが、彼は仲間を絶対に裏切らないんです。読んでいて涙が出ますよ。

積 私は通過儀礼に関心があります。近代までは元服や成人式のように社会が行っていた通過儀礼を、近代は学校が行っている。何度も通過儀礼を経験することで成長していくのではないのでしょうか。

内田 「今日から俺は!!」という漫画は普通の高校生が転校を機に髪を染め、一夜にしてヤンキーになるという通過儀礼をして、試練を通じて仲間たちと交流していく物語です。

平松 大阪市の教育現場でみんな「今日から俺は!!」になったら困りますよ(笑)。

鷲田 学生たちに就職の悩みを聞くと、「誰の為に何をすべきか」というのではなく「自分が何をしたいのかわからない」というものが多いのには驚きます。

積 今回のテーマである「おせっかい」という姿勢は生活のさまざまなところに使えるのではないかと思います。

平松 関西人はコミュニケーション能力があると言われますが、関西と一言でいっても、大阪と京都、神戸も文化が違うところがあります。他人のためになるように、おせっかいを焼こうという姿勢が、教育だけではなくあらゆるところに必要ではないかなと考えています。こうしていろいろな分野の方々と話し合う機会が大切ですね。

(敬称略)



極上の演出と歌声を披露 相愛大学音楽学部 第19回オペラ試演会

相愛大学音楽学部第19回オペラ試演会、W.A. モーツァルト「フィガロの結婚(La Folle journée, ou le Mariage de Figaro)」が3月12日、相愛大学南港ホールにて開かれました。

指揮に船曳圭一郎氏、演出に岩田達宗氏、総監督に佐藤康子氏のもと、相愛大学音楽学部の出演者達が見事な演出と歌声を披露しました。



オペラ試演会に出演して

●音楽学部 声楽専攻 川濱新之輔(伯爵役)

オペラ試演会に向けて、仲間や素晴らしい先生方と丸々一年を掛けて一本の作品に取り組めるという事は、自分にとって様々な点でプラスになりました。

試演会を終えた今、如何に自分が恵まれた環境で勉強出来ていたかを改めて実感して、それに対する自分の取り組みには反省と後悔が絶えません。それ程にオペラ演習の授業は、やる気や頑張りに強く、広く応えてくれるものでした。

オペラは、非常に多くの人とモノで成り立っています。それを実感しながら、たくさんの人に支えられ、共に勉強することが出来た一年間、とても幸せでした。

●音楽学部 声楽専攻 井田繭子(伯爵夫人役)

一回生のころから憧れていたオペラの舞台に今回初めて役をいただき、出演しました。集中講義で私が痛感したのは伝えることの難しさ、発声の基本の大切さです。音程を正しくとることが一番の役作りだと教えていただきました。また稽古の中で、音楽の中から役の気持ちを細かく考えることが段々身につけてきました。フィガロの曲以外のオペラや歌曲を練習する時でも以前より考えるようになり、様々な発見も増え、一つの曲を勉強するのがとても楽しくなりました。今後も研究していきたいと思います。



3月1日、大阪市のいずみホールにて「相愛オーケストラ 第55回定期演奏会～選抜ソリストを迎えて～」が行われました。梅田俊明、酒井陸雄両氏の指揮のもと、大学生の若い力とソリストの梅村泰彰(サクソフォン)、渡邊早貴子(ソプラノ)、山田愛(ピアノ)が結集された輝かしい演奏を披露しました。

- J.イベール/アルトサクソフォンと11の楽器による室内小協奏曲
- C.グノー/歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
- G.ドニゼッティ/歌劇「ランメルモールのルチア」より
「あたりは沈黙にとざされ」
- M.ラヴェル/ピアノ協奏曲 十長調
- L.v.ベートーヴェン/交響曲 第7番 イ長調 作品92



2007年より始まったウインドオーケストラによるポップスコンサートが若林義人氏の指揮のもと、今年も華やかに行われました。堅苦しくない誰もが楽しめるコンサートをコンセプトとする和気あいあいとしたサウンドが響き、ソリストである児嶋一江教授の奏でる「ラブソフィー・イン・ブルー」が観客を魅了しました。

演奏曲

第1部 ガーシュウィン特集

- ストライク・アップ・ザ・バンド
- ス・ワンダフル
- スワニー
- サマータイム
- アイ・ゴット・リズム
- ラブソフィー・イン・ブルー George Gershwin/岩井直博 編曲

第2部 ジャパニーズ・ポップス

- フィンガー5コレクション 金山徹 編曲
- 卒業写真InSwing 荒井由実/石毛里佳 編曲
- 恋のバカンス 宮川泰/足立正 編曲
- 涙そうそう BEGIN /渡部哲哉 編曲
- ウィスキーが、お好きでしょ 杉真理/宮川成治 編曲
- ピンクレディー・メガコレクション 金山徹 編曲

夢の共演で聴衆を魅了 相愛ウインドオーケストラ 第4回ポップスコンサート

東日本大震災被災地に向け祈り



平成22年度 卒業式 大学

相愛大学の平成22年度卒業式が3月18日(金)、本学南港ホールにて東日本大震災の被災者の方への哀悼の誠を表して憶念した後、厳粛な雰囲気の中行われました。

来賓の方々や保護者の方々が見守る中、袴や着物、スーツでこの晴れの日を迎えた学生たちの顔はどれも自信に満ち、新たな決意を胸に、428名(音楽学部102名、人文学部142名、人間発達学部169名、音楽専攻科15名)がそれぞれの道へと旅立ちました。

平成22年度 卒業式 高校



誇りにあふれ巣立つ



相愛高等学校、平成22年度卒業式が2月26日(土)、本学本町学舎講堂で行われました。

笑顔の生徒も、涙の生徒もそれぞれ誇りにあふれ、卒業生148名が、ご家族、先生たちそして後輩たちに見守られながら、3年間また6年間過ごした学舎を巣立っていきました。



平成22年度 卒業式 中学



全員で黙想

相愛中学校の平成22年度卒業式が3月19日(土)、本学本町学舎講堂で行われ、開式に先立ち、東日本大震災で尊い命を亡くされた方々に哀悼の誠を表して全員で黙想を捧げました。

厳粛な雰囲気の中で行われた卒業式では、一人一人に卒業証書が手渡され、多くのご来賓・保護者のご臨席のもと68名の卒業生達が新たな一歩を踏み出して行きました。



悔いのない学生生活を



平成23年度 入学式 大学

4月4日(月)、本学南港ホールにおいて、平成23年度相愛大学の入学式が行われました。当日は天候にも恵まれ、新入生たちの入学を祝うかのように、晴れやかで暖かい一日となりました。

今年、音楽学部106名、音楽学部編入生7名、音楽専攻科11名、人文学部40名、人文学部編入生38名、人文学部派遣留学生39名、人間発達学部137名、人間発達学部編入生5名の合計383名が新たに大学生活をスタートさせ、金児暁嗣学長からは「常に初心に返り、いまの緊張と意気込みと謙虚さを忘れないようにして、悔いのない学生生活を送ってください」との式辞が述べられました。

平成23年度 入学式 中学・高校

中学生52名・高校生131名 期待と緊張と



相愛中学校高等学校の入学式が4月6日(水)、本学本町学舎講堂にて行われました。春の穏やかな日差しの中、中学生52名、高校生131名の新入生を迎えました。やや緊張した面持ちの中学校新入生の皆さんは、これから始まる新しい中学生活への期待で満ちあふれていました。引き続き、義務教育を終え、高校へと進学する新入生の皆さんは、人生を自分の足で一歩踏み出した凛々しい表情を見せる中、平成23年度相愛中学校・高等学校入学式が挙行されました。





大阪国際女子マラソンを吹奏楽部が応援!



1月30日(日)に行われた第30回記念大阪国際女子マラソン・2011大阪ハーフマラソンの選手たちを相愛中学校・高等学校の吹奏楽部が演奏で応援しました。年末から練習を重ねて、当日は快晴でしたが気温が低く、きびしいコンディションでの応援演奏でした。しかし、力走する選手たちの励みになるよう、部員たちは心を一つにして精一杯演

奏しました。参加したランナーからは「ゴール直前の吹奏楽の生演奏はとても勇気づけられました」という声をいただきました。マラソン終了後、部員たちは「演奏している私たちの前を通過する選手の方々から、「頑張れ」と声をかけていただき、選手のみなさんが手を振ってくれる姿に、私たちが勇気づけられました」と同じ時を共有できたことに感動していました。

昨年の大阪国際女子マラソンは大雨ですごく寒い中の演奏でしたが、今年は寒さはあったものの、とても良い天気の中で迎えることができました。今年にはOGの先輩方、大学生にもお手伝いいただき、応援演奏をさせていただきました。昨年同様、長時間の演奏でしたが、選手のみなさんが前を通過するときに手を振ってくださったり、マラソンを見に来ていた方々が、寒い中にもかかわらずマラソンが終了しても最後まで演奏を聴いてくださり、「よかったよ」「お疲れ様」などと声をかけていただきました。その一言がとても嬉しくて、最後まで頑張って演奏することができました。

みなさんの支えを実感 高城 凜子

今回の本番を通して、改めていつも相愛吹奏楽部は、本当にたくさんの方々に支えていただいているんだなあと感じました。これからも今回学んだことを生かして、いつも応援していただいている皆さんに対して、感謝の気持ちを忘れずに毎日練習に励みたいと思います。



「相愛の生徒でよかった」卒業奉告参拝・帰敬式でおかみそり



2月22日(火)、卒業式を控えた高校3年生148名が本山(西本願寺)と大谷本廟を訪れ、卒業奉告参拝を行いました。また、そのうち125名の生徒、並びに相愛大学生4名、保護者4名の計133名が帰敬式を受式。阿弥陀堂の厳粛な雰囲気の中で式章を掛け合掌する受式者一人ひとりに、ご門主様によっておかみそりがあてられました。受式者を代表して、森内友梨恵さんがご門主の前で「親鸞聖人のお心を建学の精神とする相愛学園に学ぶ私たちはお念仏のみ教を大切に、苦しみや悩みの多いこの

人生を力強く生き抜きます」と帰敬文を読み上げました。また、本願寺新報の取材に対して、「友達と一緒に合掌するのはとても気持ちが引き締まり、すがすがしい。大切な節目に式を受けることができ相愛の生徒でよかった」と喜びを語っていました。引き続き音楽法要による参拝式を行い、出口湛龍相愛学園理事長によるご法話を聴聞しました。また、参拝記念として、国宝の唐門や飛雲閣、書院を特別拝観することもできました。

先日、相愛生活の区切りとして帰敬式をうけさせていただきました。その上、代表として法名をもらうという役割もさせていただきました。

初め担任の先生からこの役割をするよう言われた時は、前に出たくないという気持ちからとてもとどきました。しかし、当日おかみそりをうけている間は、正座が辛い中、相愛での6年間の楽しかった事、辛かった事すべてが良い思い出として頭の中に浮かんできて、とても大きな役割をしているのだと実感し始めました。

今振り返ってみると、貴重な経験をさせてもらうことが出来て大変嬉しく思います。仏教を通して人との関わり、

帰敬式をうけて

池田美沙

命の大切さなどを学び、じっくりと考えることが出来ました。

これからの人生、色々なことがある中、この行事や相愛生活で学べた事を活かして頑張っていこうと思います。ありがとうございました。



発達栄養学科



(左から)八百本さん、太田さん、足立さん

コンビニメニュー選手権

コンビニメニュー選手権で見事優秀賞!

(株)サークルKサンクス主催、大阪府共催による『野菜バリバリ朝食モリモリ コンビニメニュー選手権』において、人間発達学部発達栄養学科4年生八百本晶さん、太田郁乃さん、足立由美さんチームが開発した「海老アボサンド」が「調理部門」で入賞を経て関西地区のサークルKとサンクス890店で販売されておりましたが、3月25

日に行われた表彰式において、見事優秀賞を受賞しました。3名は「トマト・レタス・キュウリ・エビと、森のバターとも呼ばれるアボカドのペーストをはさんだバーガーで、温めなくても美味しく食べられるよう仕上げました。“不足しがちな野菜をコンビニ商品で提供したい”という思いで開発しました」と話しています。



久保さん(左)と足立さん

第8回愛情お弁当コンテスト

学生2人が特別賞!!

イズミヤ(株)と大阪府主催、食品企業18社、(社)大阪府栄養士会等が連携したコンテストは、今回で8回目となり、約250作品の応募がありました。去る2月9日本学にて表彰式があり、人間発達学部発達栄養学科4年生久保美津穂さんと足立由美さんが見事特別賞を受賞しました。久保さんは第7回コンテストで最優秀賞、第6回で特別賞と今回3回目の受賞、足立さんは第6回で特別賞と2回目の受賞です。



よつばのクローバー

1 大学における子育て文化継承支援

子ども・保護者の発達支援と、同時に学生の就業力支援も目的とした「よつばのクローバー」プログラムを展開しました。学生たちは遊び中心に交流する活動や、お母さん方と子育てを話題に交流する活動を通して体験的学習をつまみました。

保育現場への「就職支援シンポジウム」



3 保育・教育現場への就業に直結した学習支援

保育現場への「就職支援シンポジウム」の開催や「教育実習(幼稚園)アドバイスブック」の発行など、先輩が自分自身のふりかえり学習の成果を後輩へ伝える実践を通して、両者の学びをより深める取り組みを実施しました。

教育実習(幼稚園)アドバイスブック

4 学生の出前実践活動

社会貢献と実践力やコミュニケーション力の育成をめざし、学生が演奏活動や保育活動を地域の保育施設を訪問して実践する活動を展開しました。中でも、「リンリンロック(ハンドベル演奏隊)」の活動は卒業式で表彰されました。

子どもの発達学科 学生の就業力育成をめざしたこの1年間の主な取り組み

2 専門職育成のためのスキルアップ支援 (リカレント教育と入学前教育も含む)

「おもしろスキルアップ講座」に参加する現場で働く卒業生たち



現場で求められるスキルを、実践力および応用力の育成も含めてプロから学ぶことを目的に「おもしろスキルアップ講座」や「保育スキルアップ講座」を開きました。これは、現場で働く卒業生や地域の保育職従事者も対象とし、リカレント教育の展開とタイアップさせました。さらに、入学前からのスキルアップへの取り組みとして、入学予定者を対象に「ピアノ一日入門講座」も実施しました。

「保育スキルアップ講座」(歌うことを活用した保育実践練習)



入学予定者対象「ピアノ一日入門講座」

産官学連携事業を通じたさまざまな取り組み

相愛大学学生が行う「食育推進キャンペーン」

食事バランスガイドってなに?



「朝ごはん食べよう」カルタ遊び



今年度も本学発達栄養学科主催、近畿農政局大阪農政事務所共催、住之江区食生活改善推進員協議会、(社)大阪府栄養士会等後援でポータウンショッピングセンターで行いました。

本学科2年生を中心に学生が考えた手作りの教材を使い、「野菜・朝ごはん・おやつ・食事バランスガイド」の4つのテーマで地域の子もたちとその保護者を対象に

楽しく食育を行いました。参加者は820名でどの体験コーナーも大盛況でした。

学生たちは「カルタ遊びの読み札を考えるのが大変でしたが子どもたちが喜んで参加してくれたので苦労も吹っ飛びました」「食事バランスガイドを子どもたちに説明するのが難しかったですがとても興味をもってくれました」と話していました。

大学間連携による「おおさか食と運動健康フェスタ」



食育SATシステムによる食事診断

地域住民を対象に21年度より大学間連携事業として実施しています。今年度は森ノ宮医療大学と大阪府立大学、南港病院、近畿農政局大阪農政事務所等とも連携、地域の住民850名もの大勢の方々に参加いただき、とても盛況でした。参加学生にはとても勉強になる機会となりました。

第12回相愛オーケストラC組D組発表演奏会



3月12日(土)に本町学舎講堂で行われた第12回相愛オーケストラC組D組発表演奏会、満席のお客様を前に熱演が繰り広げられました。プログラムは右の通りです。

アンコールにC組D組全員でヨハン・シュトラウス2世作曲のトリッチ・トラッチ・ポルカが演奏され、ステージいっぱいには並んだ子どもたちの生き生きとした音に聴衆は魅了されました。

D組 F.W. ミーチャム・アメリカンパトロール(指揮: 加納千春)、G.Ph. テレマン・6つのカノンソナタより第5番/J.J. クヴァンツ・2つのヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 短調

C組 W.A. モーツァルト・ディヴェルティメント へ長調KV138/C.P.E. バッハ・シンフォニア第3番 へ長調Wq.182-3



ピアノによる
スプリングコンサート

2月27日(日)午後3時より本町学舎講堂にて「ピアノによるスプリングコンサート」が開催されました。出演はオーディションに合格した小4から高3までの音楽教室生5名。立派な演奏にお客様よりたくさんの温かい拍手が贈られました。

今回は教室講師による連弾もあり、子どもたちの演奏に華を添えました。

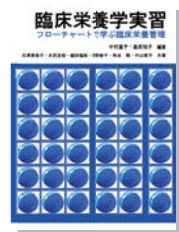
音楽教室紹介のDVDが出来ました



昨年夏に行われた相愛オーケストラC組による中国公演を記録した動画をもとに、音楽教室を紹介するDVD「相愛音楽教室」を作成しました。内容は「プロローグ=相愛オーケストラ中国公演より」「音楽教室の歴史」「授業風景」「生徒たちの演奏会」の4部構成です。DVDをご希望の方は音楽教室事務局にお問い合わせください。

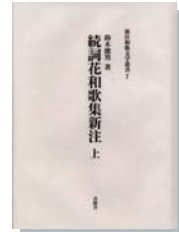
音楽教室 TEL 06-6262-0621
事務局 相愛学園の公式HP <http://www.soai.jp/index.html>
※音楽教室のHP (<http://www.soai.jp/onkyo/>)でもご覧いただけます。

BOOKS
● 本学教員の近刊図書



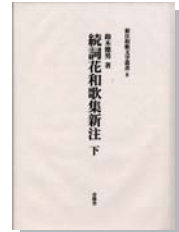
『臨床栄養学実習
—フローチャートで学ぶ臨床栄養管理—』
中村富予・高岸和子 編著

臨床栄養管理をフローチャート形式で、学生に理解しやすく順序立てて構成された初めての実習テキストである。
● 128頁。建帛社(2011年4月15日発行)。定価2,500円(税別)。



『新注和歌文学叢書7
「続詞花和歌集新注 上」』
鈴木徳男 著

平安後期の歌壇を映す二条院の下令により勅撰集となるはずであったこの歌集は、院の崩御に遭い奏覧にいたらなかった。六条藤家清輔の撰になる二十巻998頁の注釈。
● 490頁。青簡舎(2010年12月25日発行)。定価15,000円(税別)。



『新注和歌文学叢書8
「続詞花和歌集新注 下」』
鈴木徳男 著

院政期に出来た豊饒の世界。後白河、後鳥羽と続く和歌史の躍動の中で、うもれがちなこの集の意義をたどり、勅撰集になれなかった歌集への思いを読む。
● 434頁。青簡舎(2011年2月25日発行)。定価15,000円(税別)。

2011NewFace

- 1.所属
- 2.担当科目
- 3.趣味
- 4.抱負、モットー

大岩 元

- 1.音楽学部音楽マネジメント学科 教授
- 2.プログラミング、音楽とコンピュータ
- 3.音楽演奏(フルート、ファゴット)
- 4.ITによって音楽をめぐる環境は一変しました。音楽家のための情報教育をどう組み立てるか模索しようと思っています。



砂田 和道

- 1.音楽学部音楽マネジメント学科 准教授
- 2.音楽産業と文化政策、コンサート企画、アーティスト論
- 3.ご当地ものグルメ三昧
- 4.音楽に興味のない人へ、どうやったら興味を持って頂けるかを皆さんと考えていきましょう。



松谷 葉子

- 1.音楽学部音楽マネジメント学科 准教授
- 2.デジタル音楽機器演奏、音楽ビジネス起業論、音楽事業管理論、音楽事業経営論
- 3.食べること、飲むこと、音楽を聴くこと、ゲームをすること、お笑いを見ることなどです
- 4.学生たちと一緒に、既成概念、固定観念を外して何でもチャレンジしていきたいと思っています。



橋田 光代

- 1.音楽学部音楽マネジメント学科 講師
- 2.アーティストとソフトウェア音楽情報処理など
- 3.パレエ、バイオリン、ゲーム
- 4.音楽とITを題材として「制作表現」「構造の理解」「それらをつなぐデザイン」をテーマに活動します。



大村 英昭

- 1.人文学部仏教文化学科 教授
- 2.人間心理学演習、日本思想講読2Aなど
- 3.「臨床社会学」をすること
- 4.今後、必要なのは、上手に「下り坂」を降りるためのノウ・ハウであろうと私は思います。



片岡 尹

- 1.人文学部文化交流学科 教授
- 2.経済学入門、国際経済論、国際金融論、比較企業文化論
- 3.低山歩き、スキー、世界の民俗音楽を聞くこと
- 4.失敗を怖れないでチャレンジする。失敗すれば失うものもあるが、得るものはより大きい。



前垣 和義

- 1.人文学部日本文化学科 大阪文化コース 特任教授
- 2.日本文化基礎演習、日本文化基礎講読、大阪文化入門2、現代大阪文化論、大阪ビジネス論
- 3.ことば遊び
- 4.大切にしているのは、インタレストの視点です。当たり前前と思っていることにも?が抱ける。授業をめざします。



佐々木 隆晃

- 1.人文学部 准教授
- 2.仏教文化学科「真宗学」関係、人間心理学科「演習」、共通科目「建学の精神」
- 3.旅行(国内)、クルマ、バイク、地図を眺める
- 4.和顔愛語(おだやかな顔とやさしい言葉)をいつも忘れず、一日一日を大切に歩んでいきましょう。



直林 修一

- 1.人文学部仏教文化学科 准教授
- 2.宗教学、仏教学概論など
- 3.旅行・ドライブ
- 4.厳しい自然災害に、人間の無力さを知らされました。改めて人間とは何か、ともに考えていきましょう。



浅田 章

- 1.人間発達学部発達栄養学科 教授
- 2.解剖学、生理学
- 3.ギター(クラシック・フォーク・その他)、「笑い療法士」3級です(これ以下の級はありません)
- 4.講義(解剖学・生理学)を通じて、臨床医の立場から最新の医学・医療を教えます。モットーは「人の2倍苦勞して、3倍楽しむ」です。



馬場 伊美子

- 1.人間発達学部子ども発達学科 教授
- 2.算数、算数科指導法、子ども学基礎演習、教育職の研究など
- 3.音楽鑑賞
- 4.初心を忘れず、夢に向かって努力する学生さんに、惜しみない援助をさせていただきますので、よろしくお願ひします。



奥野 浩之

- 1.人間発達学部子ども発達学科 講師
- 2.教育方法論など
- 3.魚釣り、サイクリング、温泉めぐり、映画鑑賞、読書
- 4.時間と労力を惜しまずに、学生一人ひとりと向き合い、親身になって指導していきたいと考えています。



木村 久男

- 1.人間発達学部子ども発達学科 講師
- 2.生徒指導論、特別活動の指導法など
- 3.読書、写真、釣り
- 4.「大変」と言われる今の学校。でも教育には「希望」がある。教職の「面白さ」と魅力、子どもたちの輝く姿を学生と共に追求していきたい。



赤利 吉弘

- 1.人間発達学部発達栄養学科 助手
- 2.調理学実習B、臨床栄養学実習B
- 3.硬式テニス
- 4.一人でも多くの管理栄養士の後輩を育てることができるよう全力を挙げて学生達の支援をしていきたいと思っています。



渡邊 ひとみ

- 1.共通教育センター 講師
- 2.教育心理学、学校心理学、発達心理学B、教育実習、教職総合演習、介護体験
- 3.写真、音楽鑑賞
- 4.学生が日常生活や教育現場において心理学の知識を活かしていけるような授業を目指します。



太田 正見

- 1.高等学校・中学校 専任教諭
- 2.数学科
- 3.音楽鑑賞、温泉巡り
- 4.「全力を尽くせ 妥協はするな そうすれば結果は後からついてくる」学園生活を共に楽しませよう。



橋本 瑠子

- 1.高等学校・中学校 常勤講師
- 2.国語科
- 3.美術館に行くこと、阪神と日ハムを応援すること
- 4.毎授業・単元に目標を持つこと、自ら楽しく学ぶことを忘れないようにしたいです。



退職者 平成22年3月31日付

- 大学
 - ・人文学部 教授 V.プロデリック 砂川博
 - ・人間発達学部 教授 塩見邦雄 前田昭子 山城國暉 田中陽子 准教授 勝本淳弘

- 川上登子 倉中増夫 松永仁一 中村加奈子 青木佳代子 (平成22年9月30日付)
- 高等学校・中学 教諭 大谷由里(国語) 杉本一光(国語)

- 講師 池嶋香美(国語) 宮村和秀(国語)
- 事務局 事務局長 辻井康博 主幹 亀本明 係長 中田真慈 職員 田代由紀子 藤澤美香 吉村明子

- 酒井理恵子 松永有香 中西脩 丸山敏己 森岡滋子 山口百合 (平成22年9月30日付)